



## 名村造船、NKの運航最適化支援ソフト導入

NKの運航最適化支援ソフト導入  
名村造船、設計にデータ反映

日本海事協会(NK)と船舶の設計および運航支援のソフトウェア会社であるNAPA社が共同開発した運航最適化支援システム「ClassNK-NAPA GREEN」が、名村造船所で建造される新造船に導入された。NKが26日発表した。システムの導入は、船主了承のもと名村造船所の主導で行われた。

ClassNK-NAPA GREENは船舶に搭載された航海情報記録装置(VDR)やデータロガーなどから運航データを取得し、システム独自の自己学習機能(Dynamic Performance Model)により、高い精度での船舶のパフォーマンス分析機能を提供する。

名村造船所主導によるClassNK-NAPA GREENの導入は、実際の運航時の船速・喫水の状態や貨物満載時の性能など、実海域における船舶の運航データとパフォーマンス分析データを設計へフィードバックすることが目的。また、今後ニーズの高まりが見込まれる運航支援分野に造船所の立場から積極的に取り組むことで、顧客に対する付加価値を高め、競争力強化につなげることも目指している。

NKとNAPAは船舶運航の“見える化”を実現するClassNK-NAPA GREENの提供を通じ、運航の最適化と、より優れた造船設計に貢献する。

 [記事一覧に戻る](#)

 [この記事印刷する](#)